

岸和田市スマートシティ構想

概要版

— あなたの暮らしを便利に・豊かに —

まちの将来像を見据えて、さらなる官民連携を図りながら本市における課題解決や市民生活の向上につながる基本的な考え方及び方向性を示すために岸和田市スマートシティ構想を策定します。

様々なデータが繋がることで、新たなサービスが生まれ、これまで出来なかったことや不便だったことが改善し、生活しやすくなります

構想のテーマ、基本方針

構想のテーマ



スマートシティが実現する “住みよい・育てよい・心地よい” 市民生活

基本方針

【住みやすさの向上】

子育て環境の充実や移動の快適性を実現することで、まちの住みやすさと個人の幸福度を向上させます。

【効果的な都市経営】

デジタル技術やデータを活用した効果的な都市経営を進めることで誰もが恩恵を実感できるまちを実現します。

【魅力と自律性の醸成】

本市の強みや資源を深掘りしてまちの魅力を高めるとともに、市民がまちづくりを「自分ごと」と捉えられる仕組みを通して地域社会の連帯感を強化します。

Well-being

幸福感が高まる心豊かな暮らし

持続可能な都市

長期的な視野に立った包括的な課題対応

市民の誇り

それぞれが大切にできるまちの魅力と愛着

実現要素

総合計画

「将来ビジョン・岸和田」の方向性を踏まえて、テーマや基本方針を設定しました

生活の利便性と、人と人との「つながり」が実感できる市民生活を、デジタルの視点から追及します

主な課題

- 子育て世代が流出している
- 自動車の交通量が多い
慢性的な交通渋滞が発生している
- 子どもたちの学びを支える環境が十分とはいえない
- 公共交通が不便な地域がある
- 生活習慣病の早期発見と予防のため、特定健診の受診率向上が必要

特徴・強み

- 住民が地域への誇りや愛着を持っている
- 行政内部のDXを推進し、健全な行財政運営を進めている
- 歴史もあり地域に根付いている中小企業が多数存在している
- 農・水産物、特産品など多くの地域資源がある
- 岸和田城をはじめとする歴史文化、自然などの観光資源がある

スマートシティで解決すべき重点分野の設定

スマートシティで解決すべき重点分野

岸和田市の課題や特徴・強みから、スマートシティで解決すべき5つの重点分野を設定しました



子育て・教育



安全・治安維持



移動・物流



健康



観光振興

注目すべき課題の見極め

注目すべき課題への対応方向性

くらす

子育てしやすく、安全・安心に、健康的に暮らせる方向性

そだつかがやく

地域における仕事や人材が育ち、まちが活性化していく方向性

ささえる

市民と行政のつながりや、行政によるサービス提供のあり方を明確にして、将来世代に向けて本当に必要となる取組を進めていく方向性

分野横断的なデータ連携のためのデータ基盤構築の必要性

重点分野の中で優先的に解決すべき課題を見極め、3つの方向性に基づいた対応を行います

各フェーズにおけるリーディングプロジェクトの選定・検討

自動運転など、誰でも安全に行きたいところに移動でき、交通渋滞や事故が減っている社会をめざします

リーディングプロジェクトの取組内容とロードマップ

プロジェクト名(仮称) | 移動がスムーズなまちづくり

関連する3つの方向性

くらす

子育て・教育 | 移動・物流 | 健康

- 将来に向けてのイメージ
- 新拠点交通広場と連携して、次世代モビリティの活用の実証や実装が実施されている
 - 公共交通とパーソナルモビリティのスムーズな乗り換えの実証や実装が実施されている
 - シェアリングサービスなどの予約から利用までの快適な環境構築の実証や実装が実施されている

2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度以降

- 2024年度
 - 実証実験を継続し、路線バスの利用実績や利用者の意見を把握する
 - 実証実験の効果測定を行う。(実証実験のブラッシュアップを含めた対応)
- 2025年度
 - 事業継続性を判断する
 - 市内他地域での実施計画を策定する
- 2026年度
 - 本取組を市内他地域に展開する

知りたい情報や必要な学びが簡単に見つかり、様々な人が幅広い学びの機会や場に参加する社会をめざします

プロジェクト名(仮称) | いろんな学びに出会える、つながる取組

関連する3つの方向性

そだつ・かがやく

子育て・教育 | 観光振興

- 将来に向けてのイメージ
- 学校で活用できる地域の産業や伝統・文化に関する情報が、一元管理され、共有されている
 - データに基づき、最適な学習コンテンツや活動が推進されている
 - 事業者との連携による新たな学びの場が創出されている

2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度以降

- 2024年度
 - データ化すべき情報を検討する
 - データ化にあたっての課題を把握する
- 2025年度
 - データ化を進める
 - データの運用方法などを検討する
- 2026年度
 - 仕組みを構築する
 - スモールスタートで取組を開始する

自宅で簡単に様々な行政手続きや民間サービスの情報が入り、サービスが受けられる社会をめざします

プロジェクト名(仮称) | 市民と行政がつながるデータ連携基盤の構築を見据えた取組

関連する3つの方向性

ささえ

観光振興 | 安全・治安維持

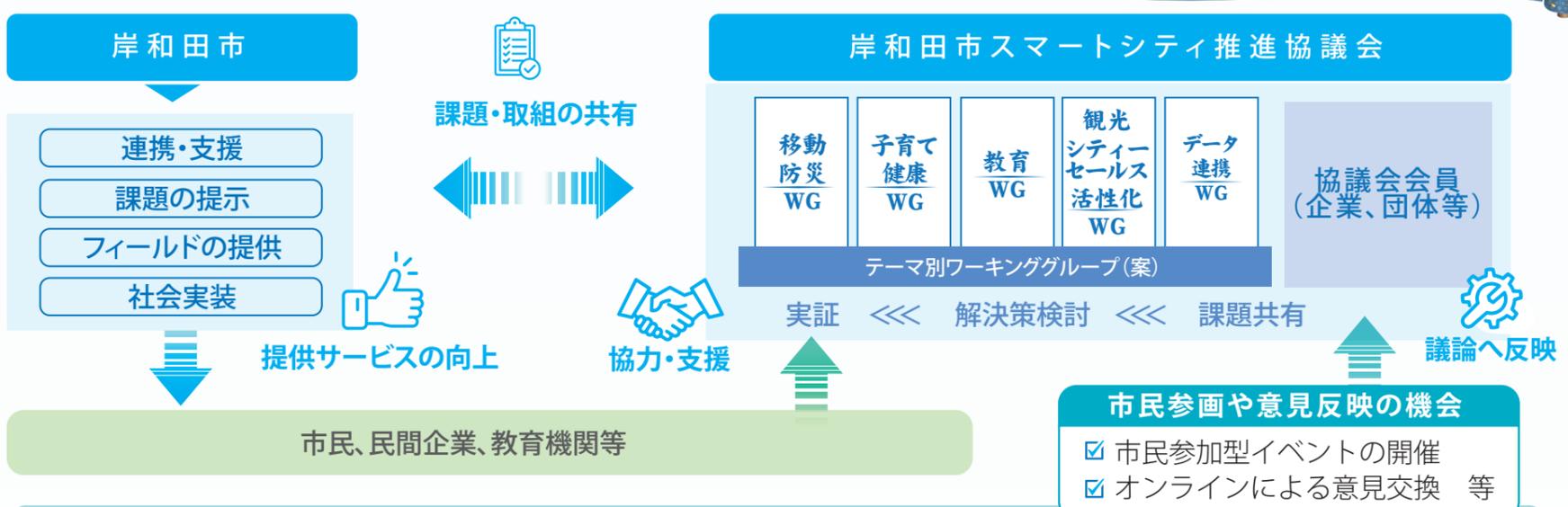
- 将来に向けてのイメージ
- 時間や場所にとらわれずに行政サービスの手続きが可能になっている
 - 24時間WEB上で問合せができる
 - 市民や地域、行政のつながりやコミュニケーションがオンラインで実施されている

2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度以降

- 2024年度
 - データ化やオンラインサービス化すべき手続きを検討する
 - データ化にあたっての課題を把握する
 - 大阪広域データ連携基盤(ORDEN)の要件を確認する
- 2025年度
 - データ化を進める
 - データの運用方法などを検討する
 - 大阪広域データ連携基盤(ORDEN)への共同化を見据えてデータや接続仕様を確認し、段階的な連携を実装する
- 2026年度
 - 仕組みを構築する
 - スモールスタートで取組を開始する
 - 大阪広域データ連携基盤(ORDEN)との連携範囲を拡大する

本市では岸和田市スマートシティ推進協議会を中心として市民の皆さんと一緒にスマートシティの実現をめざします

推進体制



- 【岸和田市スマートシティ推進協議会の機能】
- 分野間連携の促進
 - データ利活用の推進
 - 事業提案、事業化支援
 - テーマ別WGによる情報交換、取組検討及び共有
 - スマートシティ推進に係る人材育成、参入企業の公募を始めとする関係構築
 - 会員提案による取組案及び施策案の事業化に向けた協議、実証

